

今こそブレイクスルー！
すべての労働者の立場に立った働き方を実現しよう！



2019春季生活闘争ニュース

2019. 3. 2 第3号 発行責任者 連合北海道組織労働局

賃上げや長時間労働の是正などを求めて 経済5団体、北海道労働局要請を実施

連合北海道は3月1日、札幌市内で経済5団体（北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体連合会）に対して今春闘における連合の考え方を説明すると共に、賃金引き上げや働き方改革の推進、雇用の安定・維持等をはじめとして、4分野29項目の実現を強く求めた。また、36協定の適切な締結や、意義を広めようと連合組織内外で取り組んでいる「Action!36」について理解を求めると共に、「36(サブロク)の日」記念日への協賛、長時間労働の是正に向けた共同宣言の締結について協力を要請した。

2月27日には北海道労働局へも賃金、労働条件の改善を求めて要請を行った他、今後は7日に北海道に対しても自治体における非正規職員の不安定雇用の解消、外国人労働者の相談窓口の設置などを求めて要請を行う予定。

■経済5団体

経済団体への要請には信岡会長代行からも出席し、連合北海道の出村会長は、賃金改善の流れは継続しているものの、大手と中小、正規と非正規などの格差が広がっているとして、「経済の持続的成長のためには月例賃金の引き上げ、非正規労働者の処遇改善が必要だ」と強調した。また、長時間労働の是正など働き方改革については、連合が取り組んでいる「Action!36」の取り組みを紹介し、「職場の実態をよく知っている現場の労使が進めることが大事だ。会員企業への周知をお願いしたい」と協力を求めた。

これに対して経済団体を代表して挨拶した北海道経済連合会の高橋会長は、企業が置かれている環境は様々だとして、「収益が拡大、高水準で推移しているなど賃上げの条件がある企業については、年収ベースでの改善を」と、1月22日に日本経団連が公表した「経営労働政策特別委員会報告」に沿った回答にとどまった。連合が求めた「長時間労働是正に向けた共同宣言」については、経済団体を代表して回答した道経連の百瀬常務は「異論の無いもの。前向きに検討したい」と述べた。

この他、連合北海道の大柄副会長（基幹労連）が組織内の春闘状況や、ものづくり産業の課題について実情を含めて説明した。

■北海道労働局

福士労働局長へ要請書を手交した後、挨拶した出村会長は、「2019春闘では賃金水準にこだわった月例給の賃上げ、長時間労働の是正や非正規労働者の処遇改善に向けた同一労働同一賃金の実現に取り組む」と決意を述べる一方、「長時間労働を助長する高度プロフェッショナル制度は適用すべきではない」と、あらためて反対の考えを示した。

これに答えて福士北海道労働局長は働き方改革関連法の広報活動や、最賃の履行確保、高卒者や若年者をはじめとした就職支援などに積極的に取り組むと述べたほか、長時間労働の是正に向けた共同宣言の締結については、今後、事務レベルで進めていきたいと語り、「Action!36」の取り組みに理解を示した。



▲経済5団体への要請には会長代行、副会長らも出席



▲経済団体へ月例給の引き上げ、非正規労働者の処遇改善などを求めた出村会長



▲福士労働局長に要請書を手渡す出村会長(右)

2019春季生活闘争・統一地方選挙・参議院議員選挙 勝利！

3. 5 全道総決起集会

日時／2019年3月5日(火) 18:00～19:30

場所／わくわくホリデーホール(中央区北1西1)

